

取扱説明書

MBP-120SX

MBP-125SX

MXF クリップサーバ

MXF Clip Server

S

2nd Edition





改訂履歴

Edit.	Rev.	年月日	改訂内容	章／ページ
1	-	2013/07/08	初版	
2	-	2014/09/01	誤記等の修正 AES/LTC 追加 OS を日本語に変更	2, 3 章 4-3, 4-4 章




使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。




[電源電圧・電源コード]

 禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
 プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。





[設置]

 必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
 禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。
 注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。


[内部の設定変更が必要なとき]

 必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
 触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
 注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。


[使用環境・使用方法]

 禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
 禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
 禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
 禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から5cm以上離してください。


[運搬・移動]

 注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。
-----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------


[異常時の処置]

 必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

[ラック取付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

 必ず行う	ラック取付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のもは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[消耗部品]

 注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。
-------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

保証

弊社製品のご購入において製品の修理・保守等について御連絡申し上げます。

- 1) 通常のお取り扱いにおいて発生した製品故障に関し、購入後1年間無償にて修理の対応を致します。
- 2) お取り扱い上の不注意、天災等による損傷の場合は実費を頂きます。
- 3) ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。《また、特別な使用環境でご使用になられる場合、保証期間中といえども、別途有償保守契約の締結をお願いする場合があります。》
- 4) 修理はセンドバック対応となります。
- 5) 修理期間は、弊社にて故障及び修理内容確認後の回答となります。
- 6) 修理期間中の代替機ご提供の保証はいたしかねる場合があります。尚、代替機ご提供の場合は代替機使用料金が必要となります。
- 7) 製品の保守に関しましては、製品出荷後原則7年間とさせて頂いています。但し、出荷後7年を過ぎましても、保守部品を保有している場合、もしくは部品入手が可能な場合は修理をお受け致しています。
- 8) 製品の故障に起因する派生的、付随的および間接的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等については、全てご容赦頂きます。
- 9) 他社製品の修理・保守等については、別段の指定がない限り、他社の保証・保守条件によります。
- 10) 本保証は日本国内においてのみ有効です。

11) 詳細につきましては、その都度修理部門にお問合せ頂きますようお願い申し上げます。

※ 特別な修理対応を御希望の場合は、別途御相談させて頂きます。

開梱および確認

このたびは、MBP-120SX/125SX MXF クリップサーバをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

◆ 構成表

品名	数量	備考
MBP-120SX MBP-125SX	1	内1機種
電源ケーブル	1セット	抜け止め金具付き
ラック取付金具	1セット	
ゴム足	1セット	
DVI - VGA 変換コネクタ	1	
CD-ROM	1	MBP-120SX/125SX 取扱説明書 (PDF) MCS-MBPPON 取扱説明書 (PDF)
開梱と確認	1	

◆ オプション

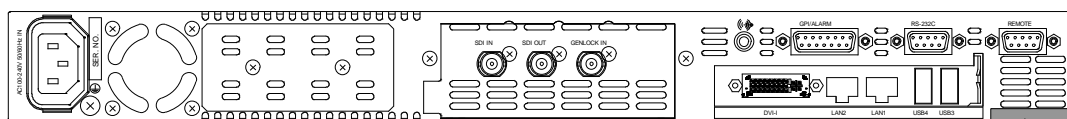
品名	数量	備考
MBP-SSD480G	1	データ記憶領域を 240GB から 480GB へ変更するオプション

注意 MBP-120SX/125SX の電源切断後再び電源を入れるときは、必ず 15 秒以上待ってから電源を入れてください。

確認

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

MBP-120SX/125SX は、下図のように型番シールを機器背面に貼付してモデルタイプを区別しています。ご注文のモデルタイプと相違ないかどうかご確認ください。



型番シール

登録商標

Microsoft Windows® 7 Embedded オペレーティングシステムは米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

ラック取付

本製品は EIA 標準規格です。ラックに取り付ける場合は、専用取付金具を使って取り付けてください。

目次

1. 概要および特長	9
1-1. 概要	9
1-2. 従来機との比較	9
1-3. 特長	9
1-4. 使用上の注意事項	10
2. 各部の名称と機能	11
2-1. 前面パネル (MBP-120SX/125SX)	11
2-2. 背面パネル (MBP-120SX)	12
2-3. 背面パネル (MBP-125SX)	13
2-4. シリアルインターフェース	14
2-4-1. REMOTE	14
2-4-2. RS-232C	14
2-5. パラレルインターフェース	15
2-5-1. GPI / ALARM	15
3. 接続と映像変換プロセス	17
3-1. MBP-120SX	17
3-2. MBP-125SX	18
4. ネットワーク設定の変更方法	19
4-1. モニタ、キーボード、マウスの接続	19
4-2. 書き込み制限の解除	19
4-3. コンピュータ名の変更	21
4-4. IP アドレスの変更	23
4-5. 書き込み禁止の設定	24
5. 仕様および外観図	25
5-1. 仕様	25
5-2. 外観図	27
5-2-1. MBP-120SX	27
5-2-2. MBP-125SX	28
付録	29
1. BIOS 画面を開く	29
2. Main メニューの設定	30
3. Configuration メニューの設定	31

1. 概要および特長

1-1. 概要

クリップサーバ MBP-120SX/125SX は、MXF (XDCAM) ファイルと HD/SD-SDI 信号の相互変換が可能なコンバータです。SSD (Solid State Drive) の搭載により、安定した再生環境を提供します。ネットワーク経由による高速データ転送もサポートしています。

1-2. 従来機との比較

	MBP-100SX シリーズ	MBP-120SX/125SX
USB インターフェース	USB2.0 x4	USB2.0 x2 USB3.0 x2
データドライブ	16GB(標準), 64GB, 128GB, 256GB	240GB(標準), 480GB(オプション)
サイズ、質量	EIA 1RU、8kg	EIA 1RU、8kg
OS	WindowsXP Embedded	Windows7 Embedded

1-3. 特長

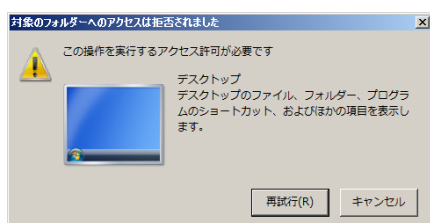
- HD/SD-SDI 信号を入力し、MXF ファイルへリアルタイムに変換することが可能
- 本体内に SSD を搭載。MXF ファイル再生装置として単体で利用可能
- MXF ファイル形式は XDCAM フォーマットに対応
- ハードウェアによる安定したコーデック処理
- EIA 1RU のコンパクトな筐体サイズ
- 再生(デコード)機能
 - ・MXF ファイルを HD/SD SDI 信号へリアルタイムに変換(デコード)
(ネットワーク経由のファイル転送にも対応)
 - ・エンベデッドオーディオ (最大 8ch※)、アンシラリタイムコードに対応
 - ・エンベデッドされているオーディオデータの AES 出力 (最大 8ch※)
(MBP-125SX のみ)
 - ・エンベデッドされているタイムコードデータの LTC 出力
(MBP-125SX のみ)
 - ・エンベデッドされているタイムコードデータの映像出力への文字スーパー出力
(MBP-125SX のみ)
- 録画(エンコード)機能
 - ・入力 HD/SD SDI 信号を、MXF ファイルへリアルタイムに変換(エンコード)
 - ・エンベデッドオーディオ (最大 8ch※)、アンシラリタイムコードに対応
 - ・外部 AES 入力に対応
(MBP-125SX のみ)
 - ・外部 LTC 入力に対応
(MBP-125SX のみ)
- 電源 OFF 時、OS のログアウトやシャットダウン操作が不要、安定運用を実現
- VTR プロトコル (RS-422) による外部制御が可能
- GPI による外部制御

※ MXF ファイル形式によってチャンネル数が変わります。

1-4. 使用上の注意事項

本製品を使用する際には以下の点に注意してください。

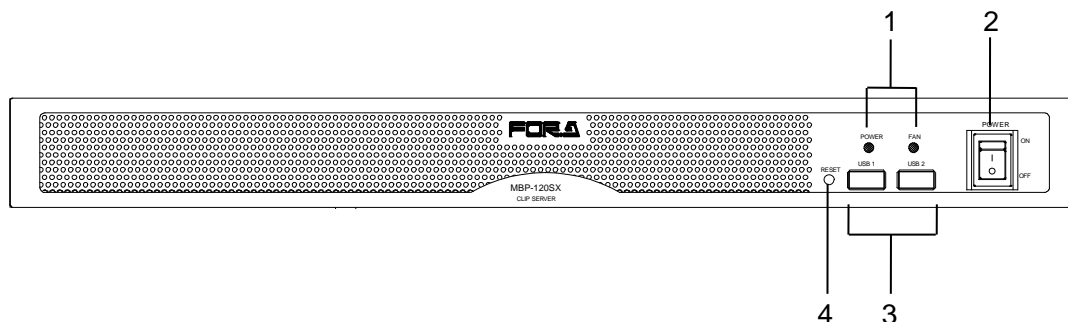
- 本製品は書き込み保護（EWF）を有効にした状態でご使用ください。
書き込み保護（EWF）を無効にした状態で電源の ON/OFF を行った場合、ファイルが破損する可能性があります。
- 本製品は C ドライブの書き込み保護をしています。
C ドライブへのフォルダ作成、データ作成等のデータ書き込みは行わないでください。
C ドライブへの書き込みを行った場合、稀に Windows がハングアップする可能性があります。
- 書き込み保護の有効/無効によらず、デスクトップへのファイル書き込みは行うことができません。
デスクトップへのデータ書き込みを行おうとした場合、次のような警告が表示されます。



- 本製品は Windows 7 を使用しており、本製品用に OS をカスタマイズしています。
指定されたアプリケーション以外はインストールしないでください。

2. 各部の名称と機能

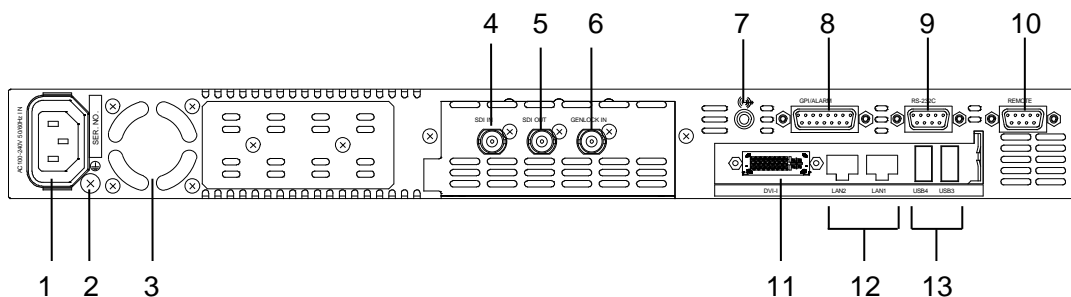
2-1. 前面パネル (MBP-120SX/125SX)



番号	名称	説明		
1	ステータスランプ	POWER	緑点灯	電源が正常に動作しています。
			消灯	電源が入っていません。電源ケーブルが挿入されていません。
		FAN	消灯	冷却ファンはすべて正常に動作しています。
			赤点灯	冷却ファンのひとつにあるいはそれ以上に異常があります。電源を切り、必要な場合はファンを交換してください。
2	POWER スイッチ	電源スイッチです。「 」側に倒すと電源が入ります。電源を入れると、ランプが緑に点灯します。電源投入後 POWER ランプが点灯するまで約 5 秒かかります。電源切断後再び電源を入れるときは、必ず 15 秒以上待ってから電源を入れてください。		
3	USB1 USB2	USB ポートです。(USB2.0 対応)		
4	RESET	POWER スイッチを ON にした後、5 秒たっても MBP-120SX/125SX の POWER ランプが緑点灯しない場合に、RESET スイッチを押してください。MBP-120SX/125SX が起動します。(通常は使用しません。)		

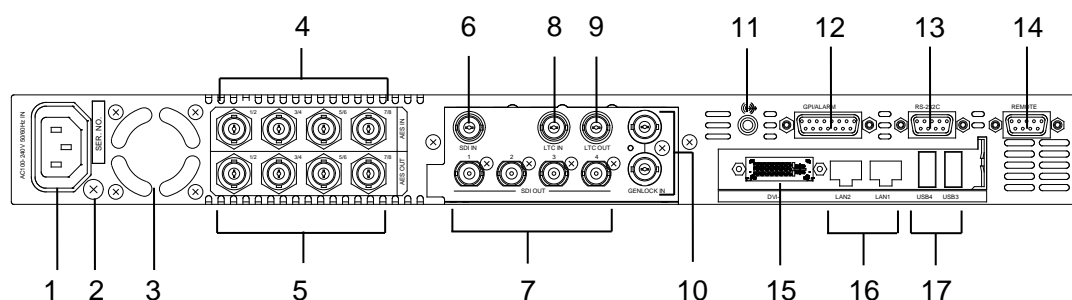
注意 FAN ランプが赤点灯しているときは、冷却ファンに異常があります。機器の電源を落とし、販売代理店へご連絡ください。

2-2. 背面パネル(MBP-120SX)



番号	名称	説明
1	AC IN	AC 電源を入力してください。(AC100V-240V 50/60Hz)
2	アース端子	安全に使用して頂くために、アースを接地して使用してください。
3	冷却ファン	基板冷却用ファンの吹き出し口です。通風孔を塞がないように設置してください。
4	SDI IN	HD/SD SDI ビデオ信号 (ラインビデオ) の入力コネクタ (BNC) です。
5	SDI OUT	HD/SD SDI ビデオ信号 (ラインビデオ) の出力コネクタ (BNC) です。
6	GENLOCK IN	ゲンロック信号の入力コネクタです。基準となる同期信号 (ブラックバースト信号または 3 値シンク信号) を入力します。
7	オーディオ出力	ステレオヘッドフォンジャック(コンテンツの音声は出力できません。)
8	GPI / ALARM	電源 / ファンアラーム出力および GPI 入出力に使用します。 D-sub 15 ピン (メス) コネクタ
9	RS-232C	制御用のシリアルポートです。 D-sub 9 ピン (オス) コネクタ
10	REMOTE	制御用のシリアル (RS-422) ポートです。 D-sub 9 ピン (メス) コネクタ
11	DVI-I	モニタ出力です。
12	LAN1/2	イーサネットポート (100BASE-TX / 1000BASE-T、RJ-45 x 2)
13	USB3 USB4	USB ポートです。(USB3.0 対応)

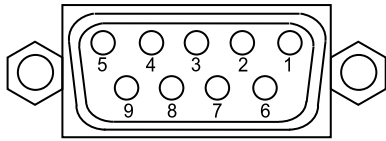
2-3. 背面パネル(MBP-125SX)



番号	名称	説明
1	AC IN	AC 電源を入力してください。(AC100V-240V 50/60Hz)
2	アース端子	安全に使用して頂くために、アースを接地して使用してください。
3	冷却ファン	基板冷却用ファンの吹き出し口です。通風孔を塞がないように設置してください。
4	AES IN (1/2-7/8)	AES 信号の入力コネクタ (BNC) です。 キャプチャ時、オーディオ入力として使用できます。
5	AES OUT (1/2-7/8)	AES 信号の出力コネクタ (BNC) です。 SDI OUT に重畳されている音声を出力します。
6	SDI IN	HD/SD SDI ビデオ信号の入力コネクタ (BNC) です。
7	SDI OUT 1-4	HD/SD SDI ビデオ信号の出力コネクタ (BNC) です。 OUT3,4 はタイムコードスーパーが可能となっています。
8	LTC IN	LTC 信号の入力コネクタ (BNC) です。 キャプチャ時、タイムコード入力として使用できます。
9	LTC OUT	LTC 信号の出力コネクタ (BNC) です。 SDI OUT に重畳されているタイムコードを出力します。
10	GENLOCK IN	ゲンロック信号の入力コネクタです。基準となる同期信号 (ブラックバースト信号) を入力します。どちらのコネクタにも入力できます。もう一方のコネクタはループスルー出力になります。ループスルーで接続しない場合は、必ず 75Ω で終端してください。
11	オーディオ 出力	ステレオヘッドフォンジャック(コンテンツの音声は出力できません。)
12	GPI/ ALARM	電源/ファンアラーム出力および GPI 入出力に使用します。 D-sub 15 ピン (メス) コネクタ
13	RS-232C	制御用のシリアルポートです。 D-sub 9 ピン (オス) コネクタ
14	REMOTE	制御用のシリアル (RS-422) ポートです。 D-sub 9 ピン (メス) コネクタ
15	DVI-I	モニタ出力です。
16	LAN1/2	イーサネットポート (100BASE-TX / 1000BASE-T、RJ-45 x 2)
17	USB3 USB4	USB ポートです。(USB3.0 対応)

2-4. シリアルインターフェース

2-4-1. REMOTE

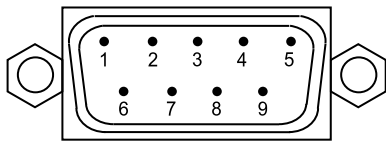


D-sub 9ピン、メス、
インチネジタイプ

◆ 端子配列表

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	FG	-	フレームグラウンド
2	TX-	出力	送信データ (-)
3	RX+	入力	受信データ (+)
4	SG	-	信号グラウンド
5	NC	-	未使用
6	SG	-	信号グラウンド
7	TX+	出力	送信データ (+)
8	RX-	入力	受信データ (-)
9	FG	-	フレームグラウンド

2-4-2. RS-232C



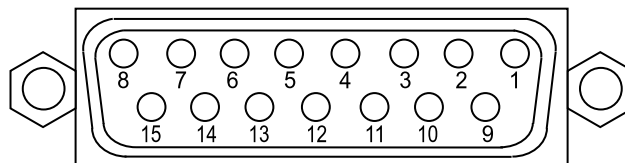
D-sub 9ピン、オス、
インチネジタイプ

◆ コネクタ端子配列表

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	DCD	入力	キャリア検出
2	RXD	入力	受信データ
3	TXD	出力	送信データ
4	DTR	出力	データ端末レディ
5	GND	-	信号グラウンド
6	DSR	入力	データセットレディ
7	RTS	出力	送信要求
8	CTS	入力	送信可
9	RI	入力	被呼表示

2-5. パラレルインターフェース

2-5-1. GPI / ALARM



D-sub 15ピン メス インチネジタイプ

◆ コネクタ端子配列表

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	GND	-	グラウンド
2	POW ALARM	出力	電源アラーム(*1)
3	FAN ALARM	出力	ファンアラーム(*1)
4	NC	-	未使用
5	GPI IN3	入力	GPI 入力(*2)
6	GPI IN2	入力	GPI 入力(*2)
7	GPI IN1	入力	GPI 入力(*2)
8	+5VOUT	出力	+5V 出力
9	COMMON	-	電源・ファンアラーム共通(*1)
10	NC	-	未使用
11	NC	-	未使用
12	GPI OUT3	出力	GPI 出力(*3)
13	GPI OUT2	出力	GPI 出力(*3)
14	GPI OUT1	出力	GPI 出力(*3)
15	GND	-	グラウンド

※ +5V 出力の定格電流は Max 200mA です。

(*1) 下記「アラーム出力回路」参照

(*2) 次ページ「GPI 入力回路」参照

(*3) 次ページ「GPI 出力回路」参照

アラーム出力回路

アラーム出力はリレー接点方式です。次のように動作します。

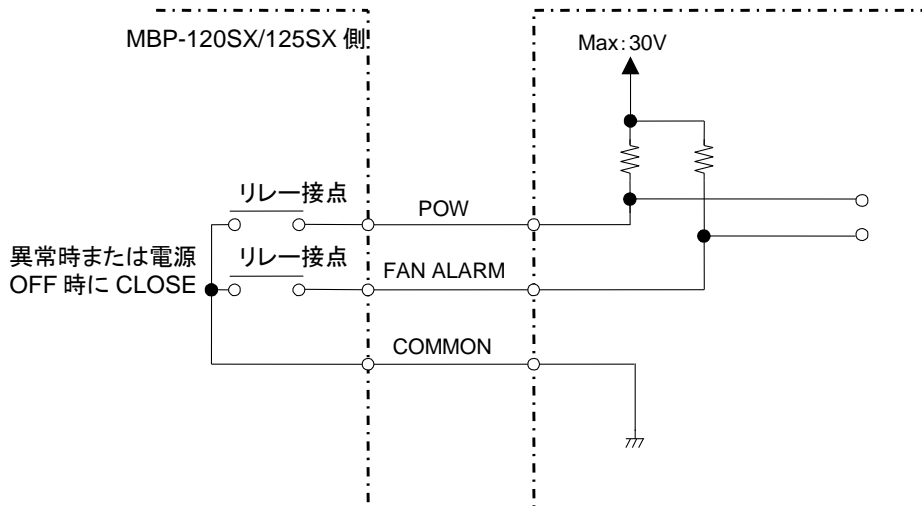
正常時： コモンピンとオープン

異常時および電源 OFF 時： コモンピンとクローズ

ピン 9 は電源アラーム・ファンアラーム共通のコモンピンです。

リレー出力の各端子の最大定格は、DC30V、0.5A です。

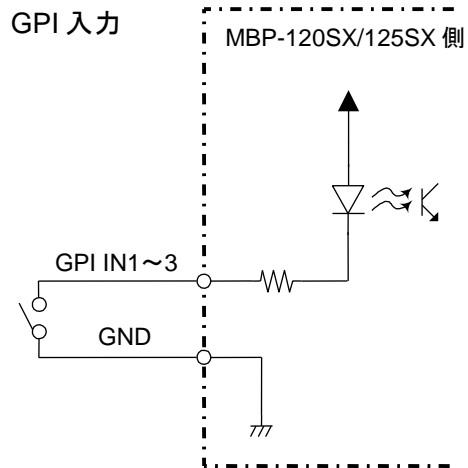
アラーム出力



GPI 入力回路

GPI 入力は次のように動作します。

- グラウンドピンとショート：機能 ON
- グラウンドピンとオープン：機能 OFF

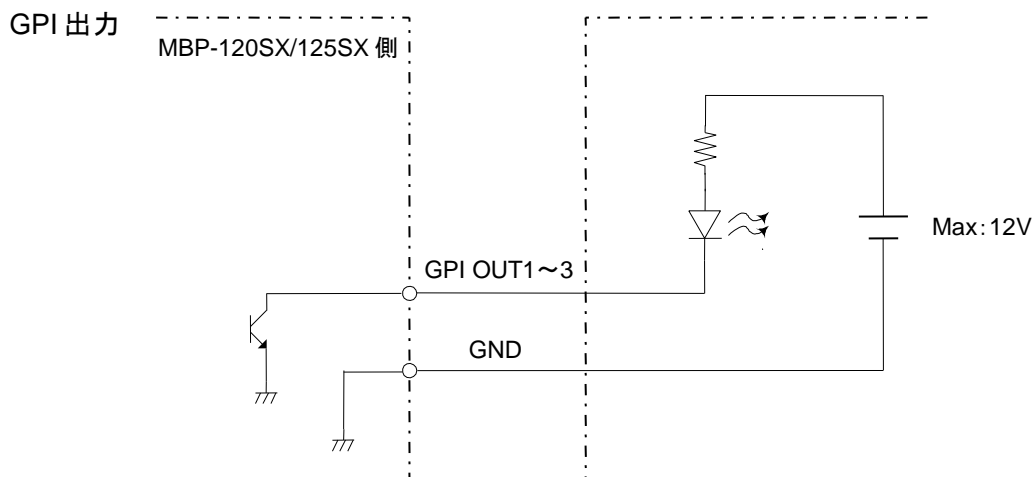


GPI 出力回路

GPI 出力はオープンコレクタ出力です。

外部電源を使用する場合は、12V 以下でご使用ください。

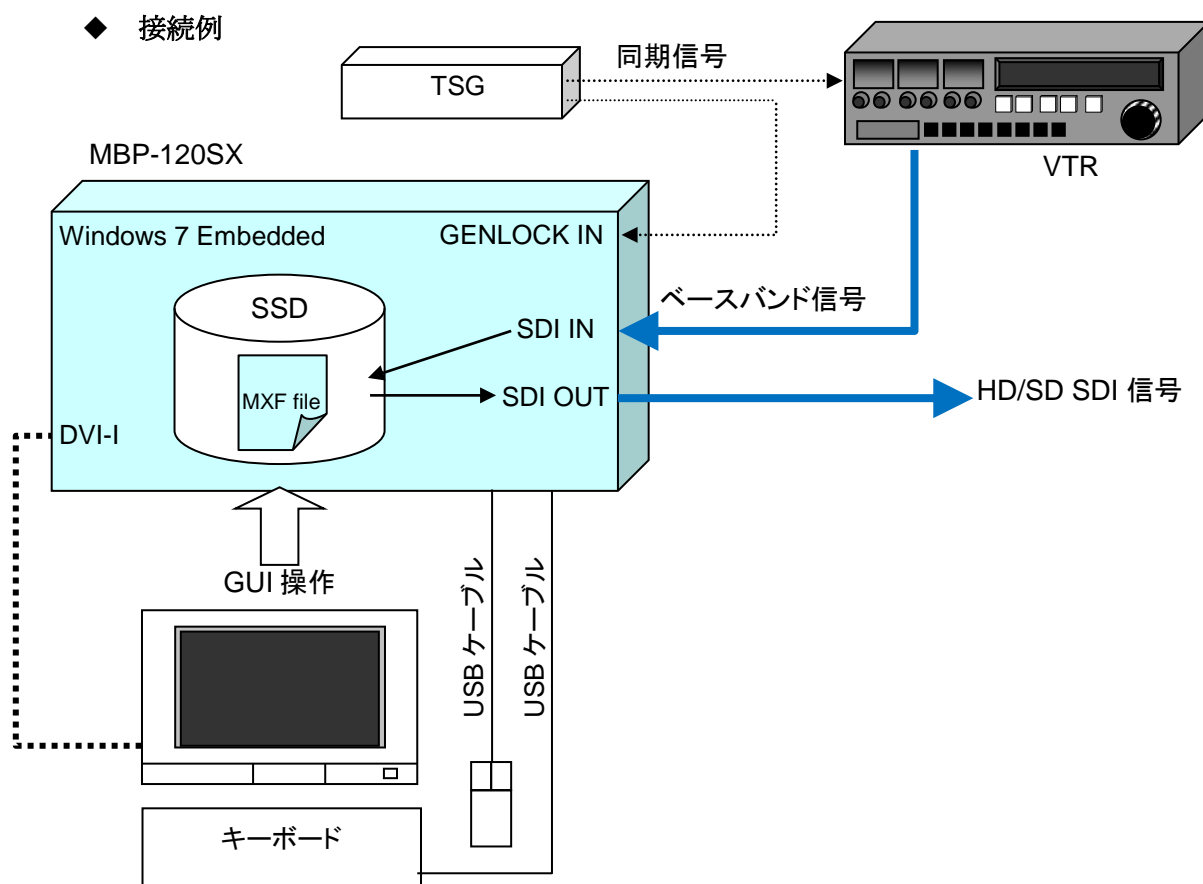
また、GPI OUT の各ピンとも、20mA 以下でご使用ください。



3. 接続と映像変換プロセス

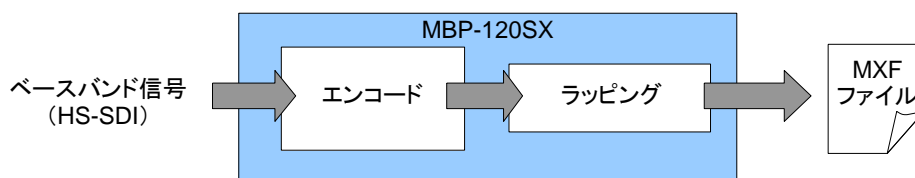
接続例を参照して、システムの機器を接続してください。VTR から入力した HD/SD SDI 信号を MXF ファイル (XDCAM) に変換し、内蔵 SSD に保存します。また、SSD の MXF ファイル (XDCAM) を SDI 信号に変換して出力します。MBP-120SX/125SX に組み込んだ Windows OS には、専用の制御ソフトウェア (MCS-MBPPON) がインストールされています。以下のように接続すると、GUI で制御することができます。

3-1. MBP-120SX

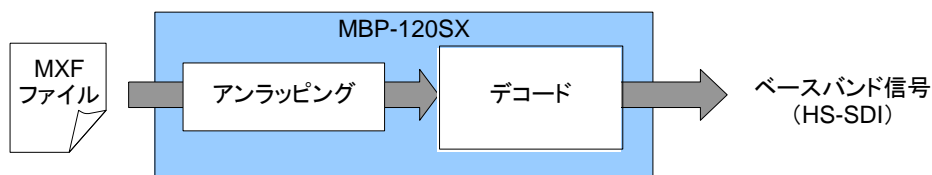


◆ 映像変換プロセス

SDI IN から入力した信号を MXF ファイルにキャプチャします。

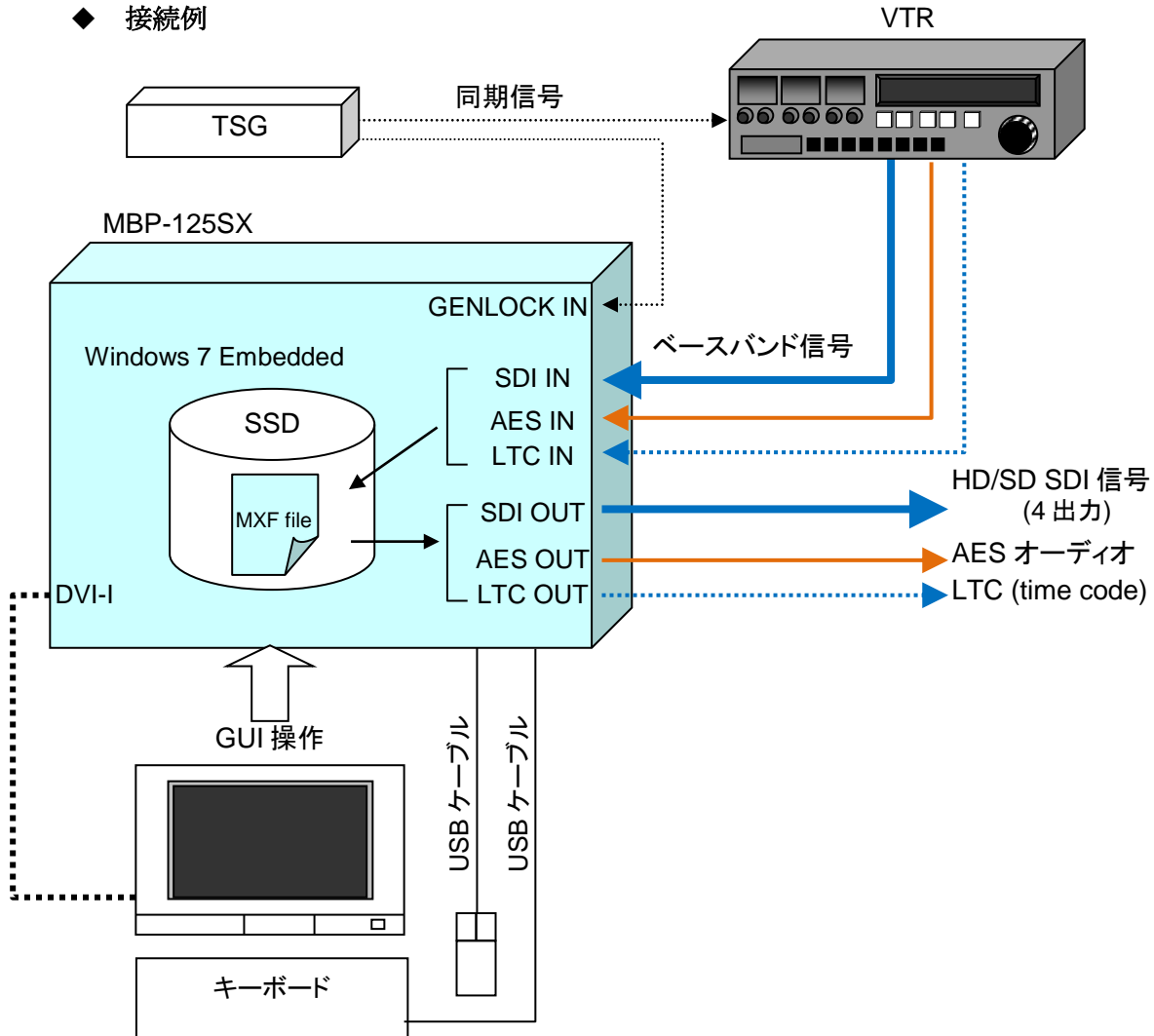


MXF ファイルを変換して SDI OUT から出力します。



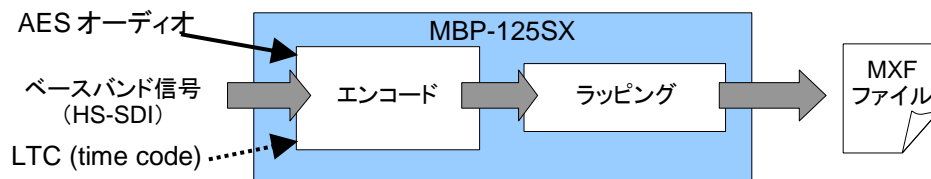
3-2. MBP-125SX

◆ 接続例

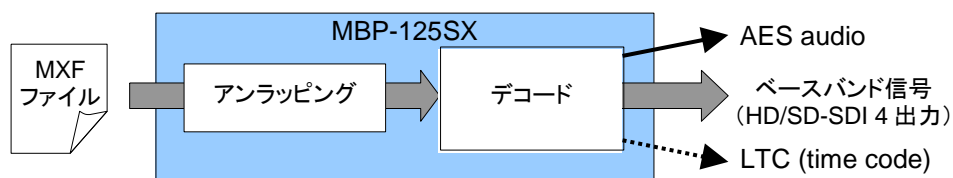


◆ 映像変換プロセス

SDI IN から入力した信号を MXF ファイルにキャプチャします。



MXF ファイルを変換して SDI OUT から出力します。



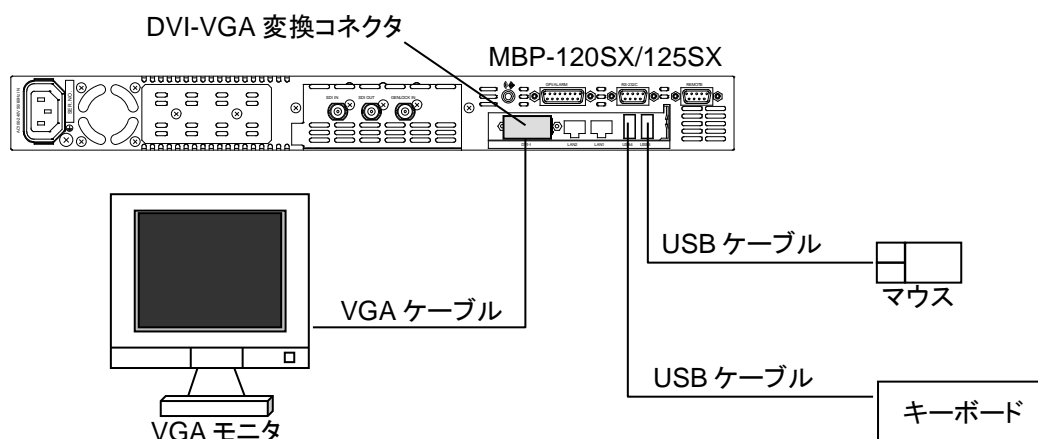
4. ネットワーク設定の変更方法

MBP-120SX/125SXには Windows オペレーションシステム (Microsoft Windows 7 Embedded) がインストールされています。MBP-120SX/125SX をネットワークに接続してご使用になる場合、お客様の環境に合わせて、ネットワークの設定を変更しなければならない場合がございます。そのようなときのために、この章では、「コンピュータ名の変更」、「IP アドレスの変更」の手順を説明します。

MBP-120SX/125SX はシャットダウン操作なしで機器の電源の ON/OFF を行うため、C ドライブを書き込み禁止にしています。「コンピュータ名の変更」、「IP アドレスの変更」を行う場合は、C ドライブの書き込み禁止を解除する必要があります。

4-1. モニタ、キーボード、マウスの接続

MBP-120SX/125SX の設定を変更するために、下図のように VGA モニタ、マウス、キーボードを接続します。(VGA モニタ、マウス、キーボードは別売りです。)



4-2. 書き込み制限の解除

1. 電源起動後、Windows が起動しスタートアップに登録してあるソフトウェアが自動で起動します。全てのソフトウェアを終了してください。
2. D ドライブのフォルダ **D:\¥forawork** 内のバッチファイル **ewf_disable.bat** をダブルクリックしてファイルを実行してください。
3. コマンドプロンプトが立ち上がり、次のように表示されます。キーボードで何れかのキーを一回押してください。

```
*****
The write-protection (EWF) for the boot drive(C:) is set to enable.
The any driver cannot install when write-protection is enabled.
*****
Press any key to continue . . .
```

4. 次のような表示があらわれます。Boot Command が **DISABLE** になっていることを確認し、何れかのキーを一回押してください。Windows が自動で再起動します。

```
** Enabling overlay

Protected Volume Configuration
Type                RAM<REG>
State               ENABLED
Boot Command        DISABLE
  Param1            0
  Param2            0
Persistent Data     ""
Volume ID           XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX
Device Name         "¥Device¥HarddiskVolume1" [C: ]
Max Levels          1
Clump Size          512
Current Level       N/A

Memory used for data 0 bytes
Memory used for mapping 0 bytes

*****
The write-protection for the boot drive was set to disable.
It is reflected in the next boot. Please restart the Windows.
*****
Press any key to continue . . .
```

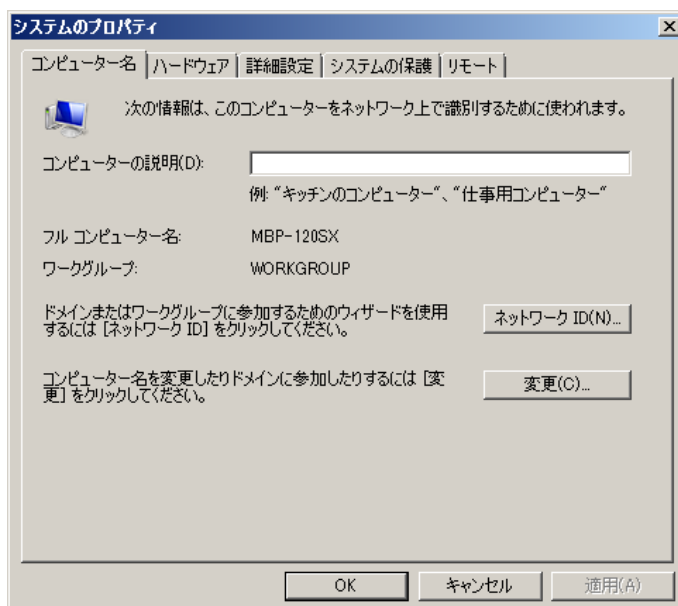
5. 再起動後、スタートアップに登録してあるソフトウェアが自動で起動します。全てのソフトウェアを終了してください。

以上で、各種設定、インストールのための準備は完了です。

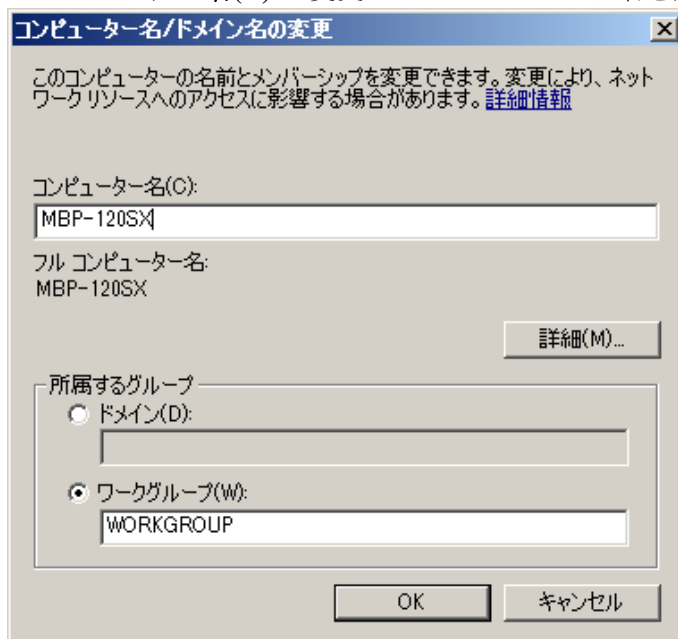
注意	書き込み制限を解除しているときに電源を OFF にする場合は、必ずシャットダウン操作を行って終了してください。シャットダウン操作を行わないとデータが破損する恐れがあります。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------

4-3. コンピュータ名の変更

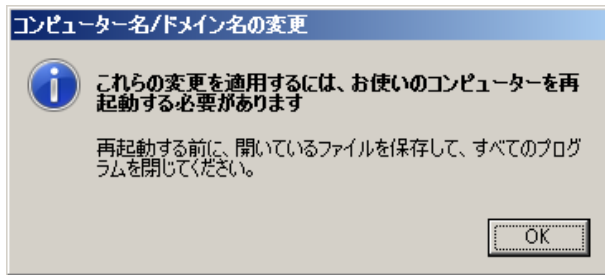
1. コンピューターを右クリックし、プロパティ(R)をクリックします。
2. システムの詳細設定をクリックします。
3. コンピューター名のタブを選び、変更(C)...をクリックします。



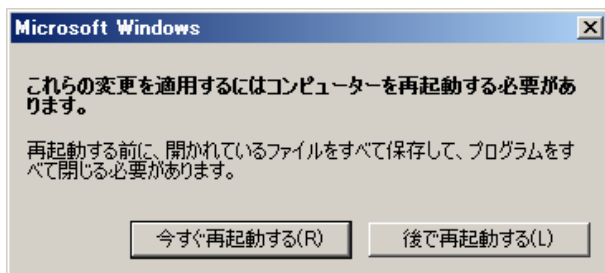
4. コンピューター名(C):に変更したいコンピュータ名を入力し、OK をクリックします。



- 5 変更確認のダイアログが表示されますので、**OK** をクリックします。



6. 4.のダイアログに戻ります。**OK** をクリックしてください。
7. 下図のようなダイアログが表示されます。他に設定の変更を続ける場合は**後で再起動する(L)**を、完了している場合は**今すぐ再起動する(R)**をクリックしてください。**今すぐ再起動する(R)**をクリックすると、PCが自動的に再起動します。

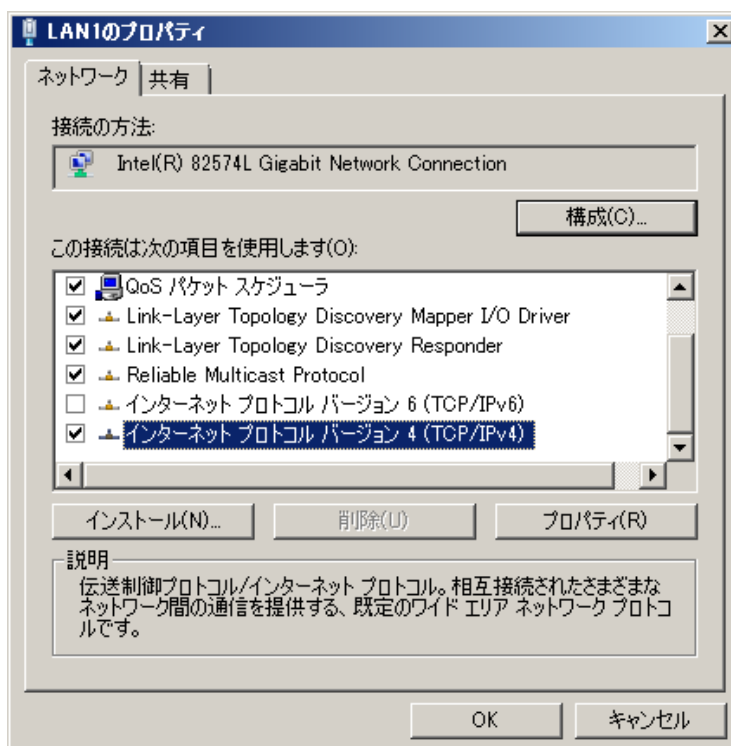


4-4. IP アドレスの変更

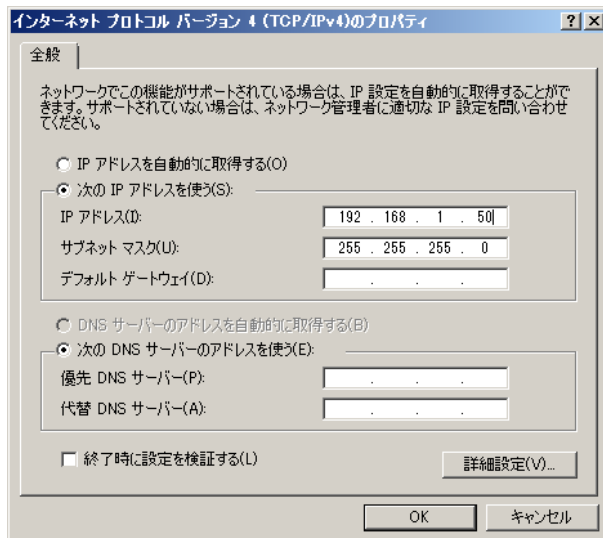
1. ネットワークを右クリックし、**プロパティ(R)**をクリックします。
2. **アダプターの設定を変更**をクリックします。
3. **LAN1** を右クリックし、**プロパティ(R)**をクリックします。



4. 下図のようなダイアログが表示されますので、**インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)** をダブルクリックします。



5. ご使用の環境に合わせて、IPアドレス、サブネットマスク等を入力し、**OK**をクリックします。



6. 4.のダイアログに戻ります。**OK**をクリックしてください。

同様の方法でタッチパネルドライバもインストールすることができます。

4-5. 書き込み禁止の設定

設定変更やインストールが全て終わった後は、下記のように、必ず書き込み禁止の設定を行ってください。

1. Dドライブのフォルダ **D:\forawork** 内のバッチファイル **ewf_enable.bat** をダブルクリックしてファイルを実行してください。
2. コマンドプロンプトが立ち上がります。キーボードの何れかのキーを押してください。
3. **Boot Command** が **ENABLE** になっていることを確認してください。何れかのキーを一回押してください。**Windows** が自動で再起動します。(「4-2. 書き込み制限の解除」参照)

再起動後はCドライブの書き込みが禁止になります。

5. 仕様および外観図

5-1. 仕様

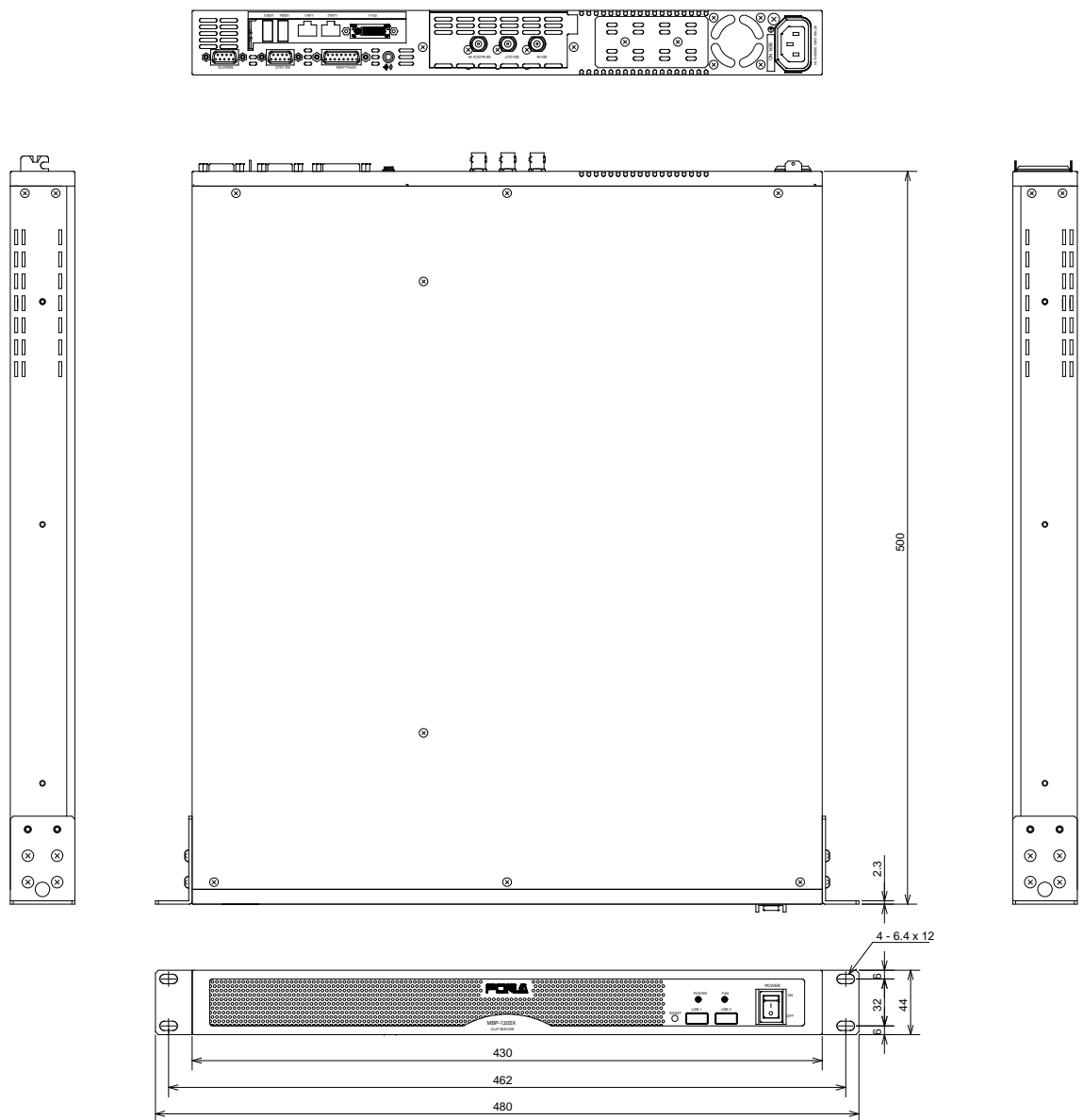
	MBP-120SX	MBP-125SX
ビデオフォーマット	HD-SDI : 1080/59.94i, 1080/50i, 720/59.94p, 720/50p SD-SDI : 525/60, 625/50	
MXF	SONY XDCAM SD: IMX (50/40/30 Mbps) HD (1080/59.94i, 50i): XDCAM HD (35/25/18 Mbps), XDCAM HD422 (50 Mbps) HD (720/59.94p, 50p): XDCAM HD (35/25 Mbps), XDCAM HD422 (50 Mbps)	
ビデオ入力	HD: 1.485/1.001Gbps または SD: 270 Mbps 75Ω BNC x 1	
ビデオ出力	HD: 1.485/1.001 Gbps または SD: 270 Mbps 75Ω BNC x 1	HD: 1.485/1.001 Gbps または SD: 270 Mbps 75Ω BNC x 4 ※OUT3、4はタイムコード文字 スーパ可能
ゲンロック入力	BB: NTSC 0.429 V(p-p)/ PAL 0.45 V(p-p) または 3値シンク: 0.6 V(p-p) 75Ω BNC x 1	BB: NTSC 0.429 V(p-p)/ PAL 0.45 V(p-p) または 3値シンク: 0.6 V(p-p) 75Ω BNC x 1 ループスルー (未使用 時は 75Ω で終端してください)
オーディオ入力	(最大チャンネル数、量子化ビット数は、MXF形式により異なります。)	
エンベデッド	HD: 最大 8 ch (ステレオ 4 系統) (グループ 1、2) 16/24-bit 48 kHz SD: 8 ch (グループ 1、2) 16-bit 48 kHz	
AES-EBU		1.0 V(p-p) 不平衡 75Ω BNC x 4 (ステレオ 4 系統) サンプリング周波数: 48 kHz 量子化ビット数: 16/24-bit (HD)、 16-bit (SD)
オーディオ出力	(最大チャンネル数、量子化ビット数は、MXF形式により異なります。)	
エンベデッド	HD: 最大 8 ch (ステレオ 4 系統) (グループ 1、2) 16/24-bit 48 kHz SD: 8 ch (グループ 1、2)、16-bit、48 kHz または 4 ch (グループ 1、2) 20-bit 48 kHz	
AES-EBU		1.0V(p-p) 不平衡 75Ω BNC x 4 (ステレオ 4 系統) サンプリング周波数: 48 kHz 量子化ビット数: 16/24-bit (HD)、 16/20-bit (SD)
タイムコード入力		
エンベデッド	HD: アンシラリタイムコード (LTC/VITC) SD: アンシラリタイムコード (LTC) および D-VITC	
LTC		1.0 V(p-p) 不平衡 75Ω BNC x 1
タイムコード出力		
エンベデッド	HD: アンシラリタイムコード (LTC/VITC) SD: アンシラリタイムコード (LTC)	
LTC		1.0 V(p-p) 不平衡 75Ω BNC x 1
データ記録領域 (SSD)	記録可能領域: 240 GB (標準)、480 GB (オプション)	

	MBP-120SX	MBP-125SX
インターフェース		
REMOTE	D-sub 9 ピン (メス) x 1	
RS-232C	D-sub 9 ピン (オス) x 1	
USB	USB 2.0 シリーズ A コネクタ x 2 (前面: 2) USB 3.0 シリーズ A コネクタ x 2 (背面: 2)	
LAN1/2	100BASE-TX/1000BASE-T 対応 RJ-45 x 2	
DVI-I	DVI-I コネクタ x 1 (1280 x 1024)	
GPI/ALARM	D-sub 15 ピン (メス) x 1 ALARM: 電源、ファンアラーム (接点出力) GPI: 3 入力/3 出力 (接点入力、オープンコレクタ出力)	
オーディオ 出力	3.5 mm ステレオミニジャック x 1	
使用温度	0°C~40°C	
使用湿度	20%~80% (結露のないこと)	
電源電圧	AC 100 V~240 V ±10% 50/60 Hz	
消費電力	AC 100V~120V 時 : 70VA (68W) AC 120V~240V 時 : 73VA (56W)	AC 100V~120V 時 : 80VA (78W) AC 120V~240V 時 : 81VA (66W)
外形寸法	430 (W) x 44 (H) x 500 (D) mm EIA 1RU	
質 量	7.5 kg	8 kg
消耗部品 (常温 24 時間使用時)	冷却ファン: 交換時期 3 年 電源: 交換時期 5 年 バッテリー: 交換時期 5 年	

5-2. 外觀圖

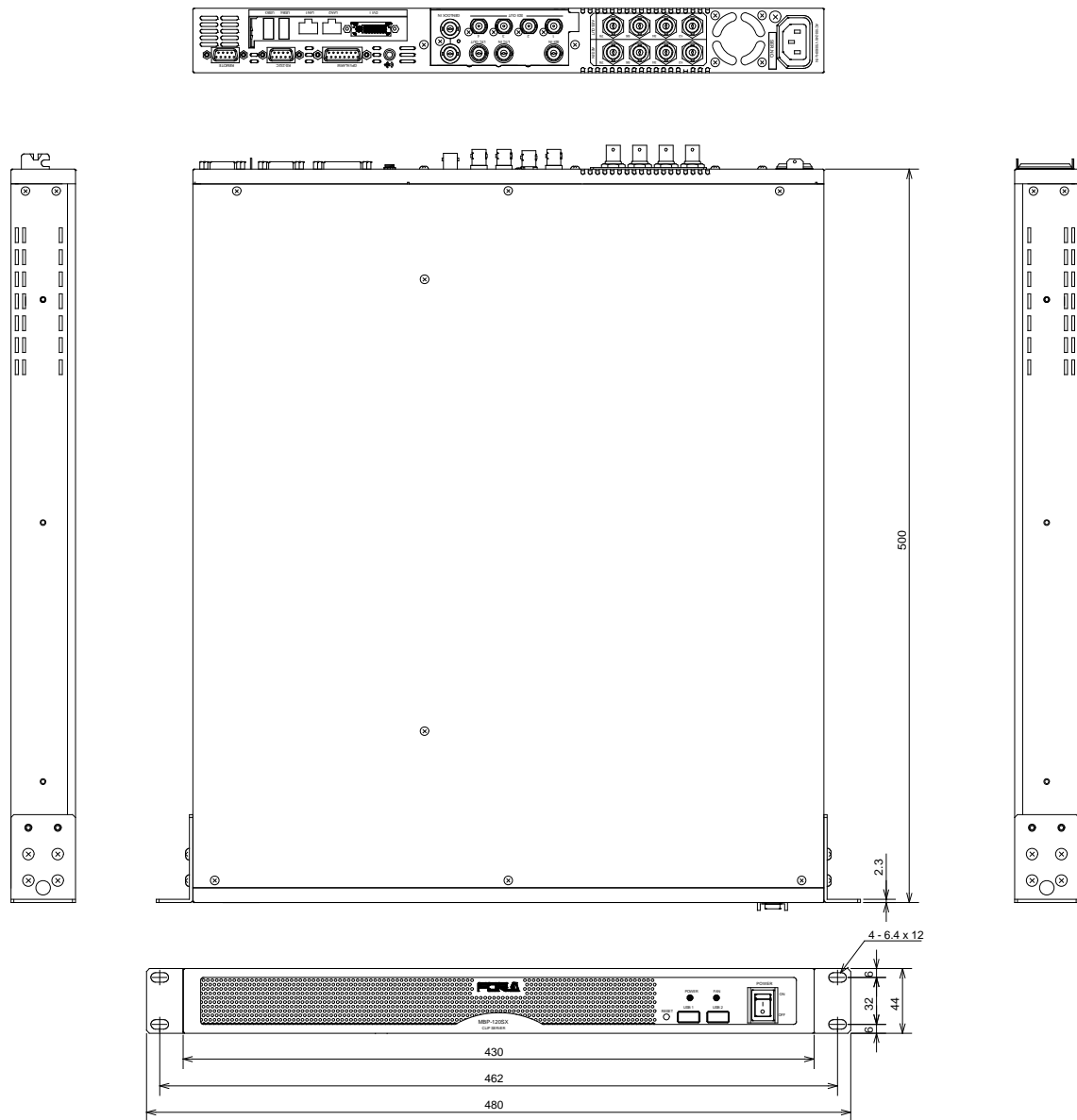
5-2-1. MBP-120SX

(寸法單位 mm)



5-2-2. MBP-125SX

(寸法単位 mm)



付録

バッテリー切れなどにより、BIOS の再設定が必要になった場合には以下の説明に従って再設定を行ってください。

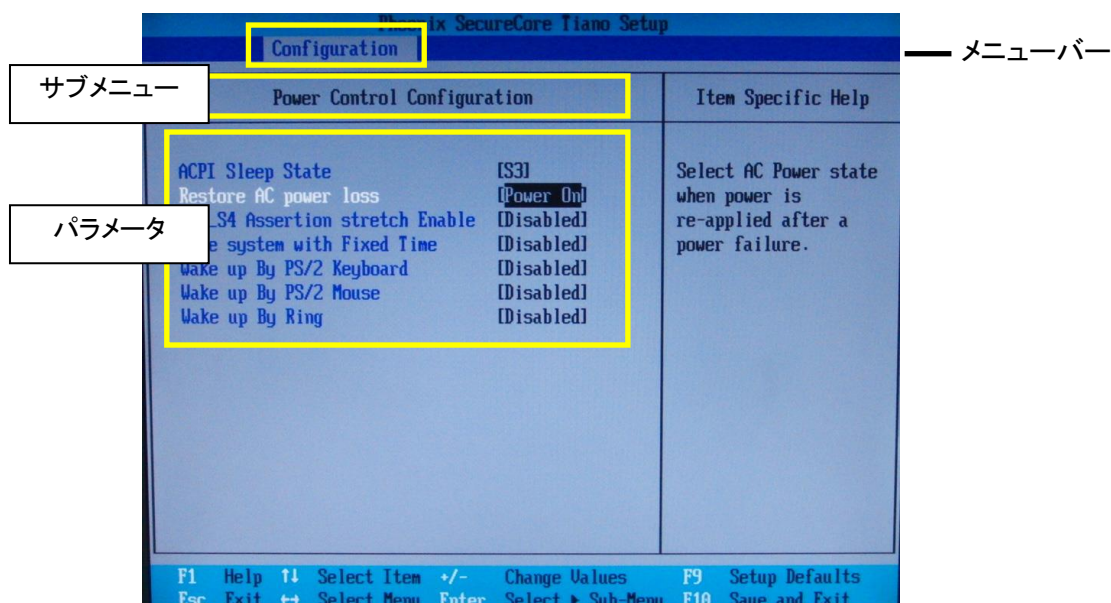
1. BIOS 画面を開く

1. PC モニタ、キーボード、マウスを接続し、電源を ON にします。
2. PC が立ち上がると下図の画面が表示されますので、[F2] キーを押してください。

※ バッテリー切れなどで BIOS が初期化された場合は、[F1] キーで BIOS メニューが表示されますが、正常動作しているときに BIOS メニューを表示したい場合は、BIOS 画面表示中に [F2] キーを押してください。



3. [Phoenix SecureCore Tiano Setup] が表示されます。
メニューバーでキーボードの[←][→]キーを押し、メニュー画面を選択します。
下図では Configuration メニュー画面が表示されています。



以下の章の手順を参照し、各メニュー画面上で、下表の通りになるように設定してください。

メニュー	サブメニュー	パラメータ	値
Main	-	System Time	現在の時刻
	-	System Date	現在の日付
Configuration	PCI/PCIE Configuration	PEG0~PEG3	Auto
	Power Control Configuration	Restore AC Power Loss	Power On
	Chipset Configuration	Max TOLUD	Dynamic
Boot	-	Boot Priority Order	1. ATA HDD4

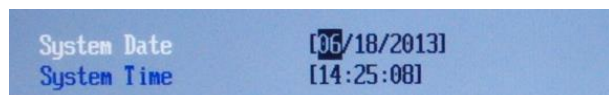
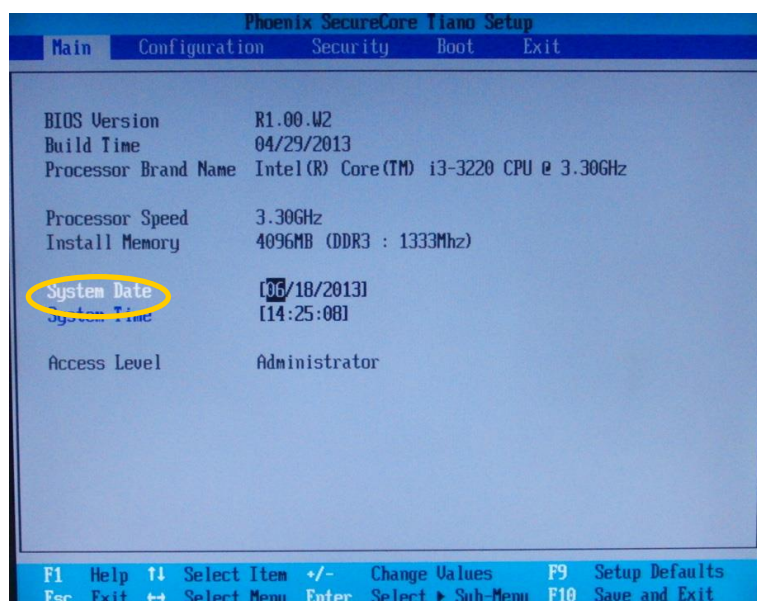
2. Main メニューの設定

Main メニュー画面では、時刻/日付の設定を行います。

メニューバー上で、キーボードの \leftarrow \rightarrow キーを使って [Main] を選択し、Main メニュー画面を表示します。

◆ 日付の設定

- (1) キーボードの \uparrow \downarrow キーで [System Date] の月、日または年を選択します。
- (2) 数字キーで現在の値を入力し、**Enter**キーを押して確定します。
カーソルを移動し、日付の他の値も同じように変更してください。





◆ 時刻の設定

- (1) キーボードの \uparrow \downarrow キーで [System Time] の時、分または秒を選択します。
- (2) 数字キーで現在時刻を入力し、**Enter**キーを押して確定します。
カーソルを移動し、時刻の他の値も同じように変更してください。

3. Configuration メニューの設定

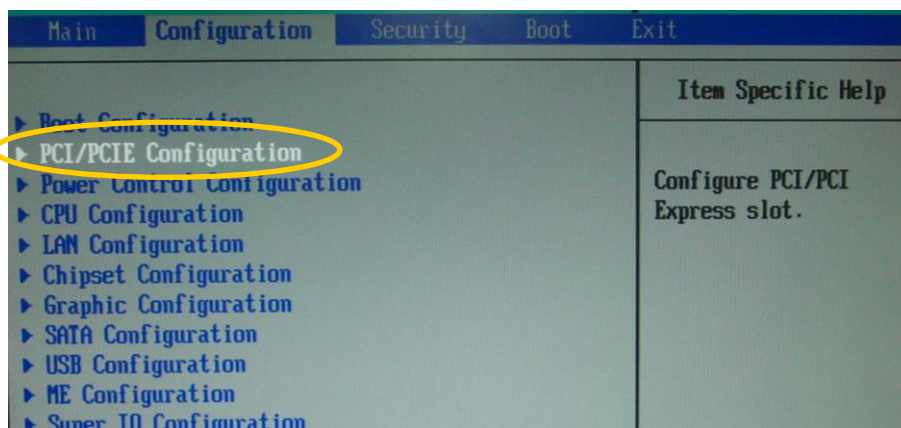
Configuration メニュー画面では、下記の項目の設定を行います。




- [PCI/PCIE Configuration]
- [Power Control Configuration]
- [Chipset Configuration]

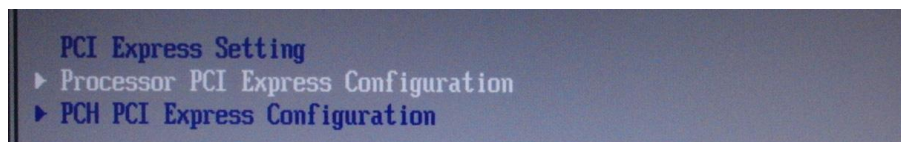
メニューバー上で、キーボードの   キーを使って [Configuration] を選択し、Configuration メニュー画面を表示します。



◆ PCI/PCIE Configuration 設定

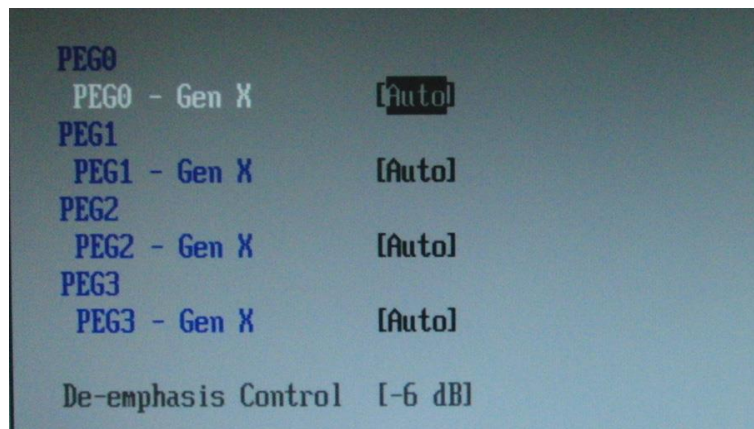
- (1) キーボードの   キーで [PCI/PCIE Configuration] を選択し、 キーを押してサブメニューを表示します。




- (2) キーボードの   キーで [Processor PCI Express Configuration] を選択し、 キーを押してパラメータを表示します。



- (3) PEG0～PEG3 の設定をすべて Auto にします。まず、PEG0 の設定上で  キーを押します。[Options] メニューが表示されますので、[Auto] を選択し  キーを押して確定します。他も同様に Auto に設定してください。

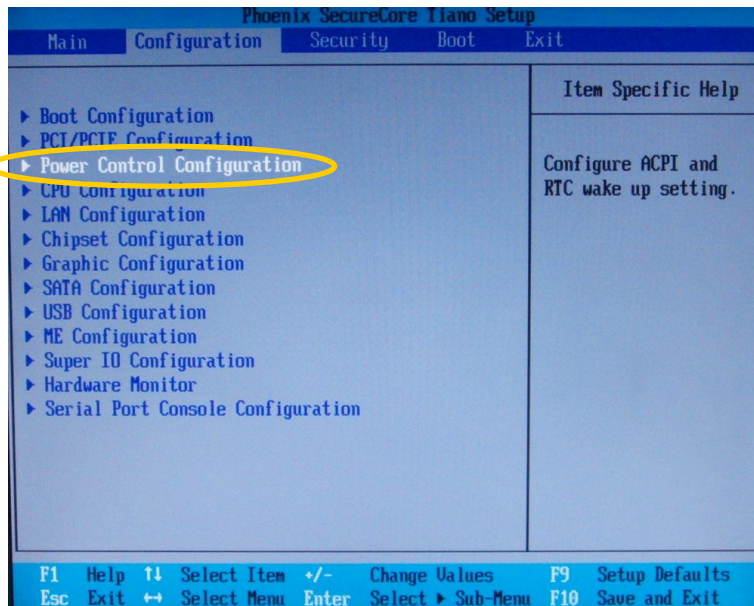


上図のように、PEG がすべて [Auto] になっていることを確認してください。

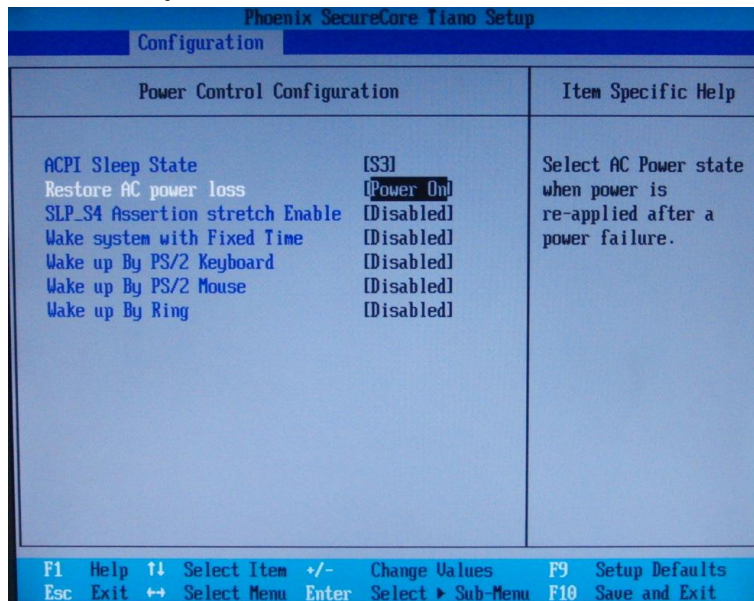
- (4) キーボードの  キーを押して元の画面に戻ります。

◆ **Power Control Configuration 設定**

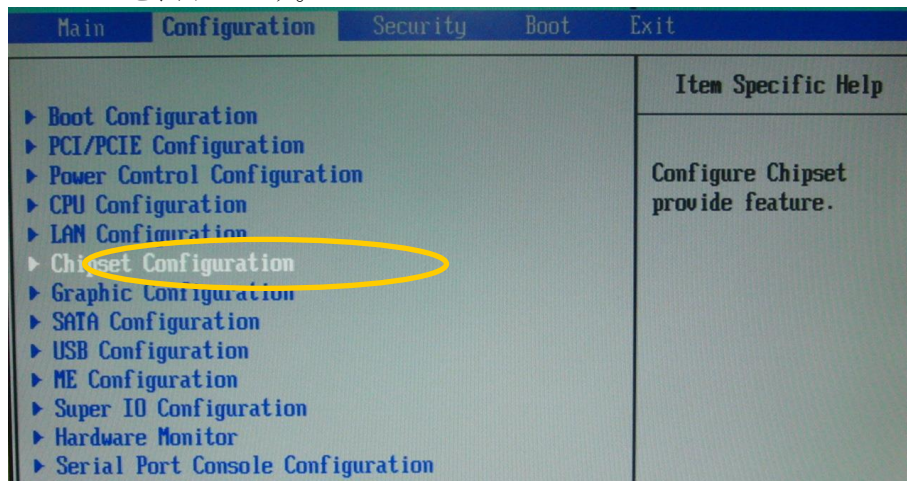
- (1) キーボードの[↑][↓]キーで [Power Control Configuration] を選択し、[Enter]キーを押してサブメニューを表示します。



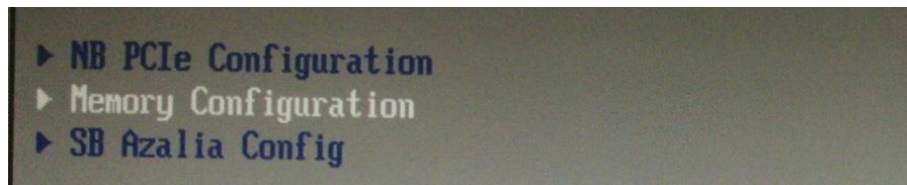
- ⑥ キーボードの[↑][↓]キーで [Restore AC Power Loss] を選択し、[Power On] に設定してください。



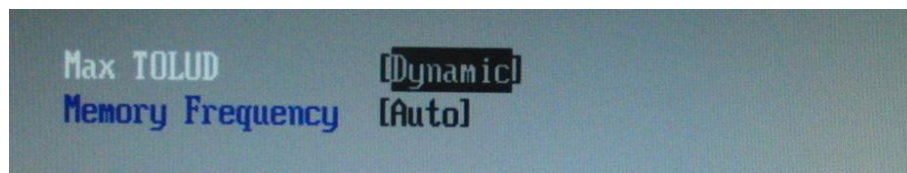
- ⑦ [Chipset Configuration] の設定を行います。
キーボードの[↑][↓]キーで [Chipset Configuration] を選択し、[Enter]キーを押してメニューを表示します。



- ⑧ キーボードの[↑][↓]キーで [Memory Configuration] を選択し、[Enter]キーを押してメニューを表示します。



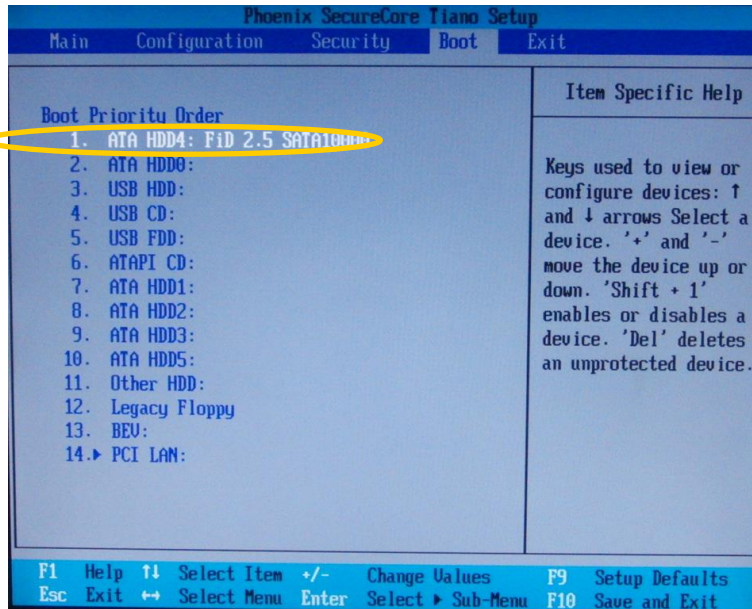
- ⑨ [Max TOLUD] の設定を [Dynamic] に設定します。
Enter キーを押すと [Options] メニューが表示されますので、[Dynamic] を選択し、[Enter]キーを押して設定します。



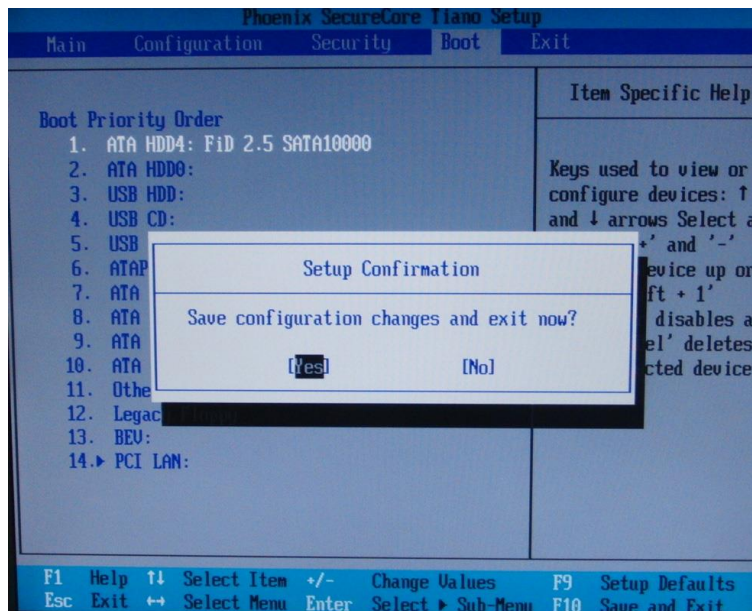
- (3) トップメニュー [Boot] にて、[Boot Priority Order] の設定を行います。
① キーボードの[←][→]キーでトップメニューから [Boot] を選択します。

◆ **Boot メニュー画面**

- ② [Boot Priority Order] の設定を行います。
キーボードの[↑][↓]キーで [ATA HDD4] を選択し、[+]キーを押して [1. ATA HDD4] になるように設定します。



- ③ 設定が終了したら、[F10] キーを押してください。設定を保存して終了するか確認メッセージが表示されますので、[YES] を選択してください。Phoenix SecureCore Tiano Setup が終了し、再度 BIOS から起動が始まります。



以上で設定完了です。

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A[®]
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

24h
365 days サービスセンター

03-3446-8575

株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)